

# 第3学年外国語科学習指導案

日 時：令和〇年〇月〇日（〇）〇校時  
学 級：第3学年〇組〇名  
場 所：3年〇組教室  
授業者：〇〇 〇〇

## 1 単元名

Unit 5 Living with Robots - For or Against (New Horizon English Course 3 東京書籍)

## 2 単元の目標

社会的な話題について読んだり、聞いたりしたことを理解し、英語によるディベートを通して、相手の意見に応じて自分の考えやその理由を伝え合ったり、意見を書いたりすることができる。

## 3 単元について

### (1) 生徒の実態

コロナ禍で例年に比べると十分な言語活動ができていないが、生徒たちは英語の学習に前向きに取り組んでいる。また、相手を意識した表現が少しずつできるようになってきている。しかし、相手の意見に応じて話すことについては、言いたいことがうまく表現できずに戸惑い沈黙するなど、苦手意識を感じている生徒も多い。そこで、本単元ではディベートを取り入れ、議論を行う際は、理由をメモ程度に書いた付箋を用いて、分析・整理をしながら相手の意見に応じて話すための手立てとする。また、ディベートに観察者（メモ係とレポート係）を設け、論点の整理をしたり、客観的に気付いたことを伝えたりすることで、ディベートでの表現や内容をより豊かなものにしていきたい。

### (2) 教材について

本単元は、相手の意見を受けて自分の考えを述べながら議論する力の育成を目指している。また、本単元での学習が、Daily Scene 6でのレポートを書くことへの力へとつながっていく。

教科書では、議論のテーマとして、「ロボットとの暮らし」が取り上げられている。これは、今日的で考える意義があり、かつ賛否のどちらの立場からも論理的な支持が可能なテーマである。

言語材料としては、現在分詞と過去分詞を用いた後置修飾、間接疑問文、議論に必要な表現を扱っている。

### (3) 指導について

本単元では、相手の意見に応じて自分の考えやその理由を伝えることができるよう、言語活動としてディベートを行う。ディベートでは、今後の外国語教育に求められる相手の意見に応じて話すことと中間交流に重点を置く。ディベートを行う際は、付箋を用いることで、視覚的に論点を整理することができるようにし、具体例や反論を示すための手立てとする。中間交流では、ディベートⅠを基に、論点整理・「さらに伝えたい表現」の共有・追加情報の提示を行い、この3点によって、ディベートⅡの内容をより深められるよう期待する。また、話したことを基に、自分の考えやその理由を再度分析・整理しながらライティングを行うことで、再構築をより確かなものにしていきたい。

第1時から第5時では、帯活動として日常的で身近なテーマによるミニディベートを取り入れ、議論に必要な語句や表現の定着、相手の意見への応じ方を学ぶ。また、第4時・第5時では、本文に登場する登場人物のやり取りについて、話の論点に着目しながら、それぞれの立場や理由、その根拠について付箋を活用しながら読みを深め、その内容を参考にして自分の意見を書くことによって、第6時でのディベートやライティングにつなげていく。このようなスモールステップでの指導を積み上げることにより、相手の意見に応じて、自分の考えやその理由を英語で伝えることができる生徒の育成を目指したい。

**(4) 生徒が「読み解く力」を、高め、発揮している姿とそのための手立て**

<p>【「読み解く力」の二つの側面】</p> <p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力</p> <p>B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p>	<p>【「読み解く力」の三つのプロセス】</p> <p>①…発見・蓄積：必要な情報を確かに取り出す</p> <p>②…分析・整理：情報を比較し、関連付けて整理する</p> <p>③…再構築：自分なりに解決し、知識を再構築する</p>
<p>【A①】あるテーマについて、それぞれの立場やその理由、議論に必要な語句や表現を理解している。</p>	<p>【B①】友達とのやり取りを通して、あるテーマについて、それぞれの考えやその理由、議論に必要な語句や表現を理解している。</p>
<p>・教科書の登場人物の意見について、彼らの立場やその理由を話の論点や根拠に着目しながら読む。</p> <p>・毎時間の帯活動でミニディベートを行い、議論に必要な語句や表現の定着、相手の意見への応じ方を学ぶ。</p>	
<p>【A②】あるテーマについて、それぞれの立場やその理由を、論点に基づいて分析・整理している。</p>	<p>【B②】相手の意見を、自分の考えやその理由と照らし合わせながら、論点に基づいて分析・整理している。</p>
<p>・立場を色分けした付箋にメモ程度に理由を書き、分析・整理に役立てる。</p> <p>・中間交流で、論点を整理し、具体例や反論の仕方を考える。</p>	
<p>【A③】論点に基づいて、分析・整理したことを踏まえ、「さらに伝えたい表現」や新たな情報を加えながら、自分の考えやその理由をまとまりのある英語で伝えている。</p>	<p>【B③】分析・整理したことを踏まえながら、相手の意見に応じて自分の考えやその理由をまとまりのある英語で伝え合ったり、意見を書いたりしている。</p>
<p>・中間交流を生かして、ディベートⅡを行う。</p> <p>・話したこと（ディベートや全体シェアリング）をもとに自分の意見を書きまとめる。</p>	

**4 該当する学習指導要領における領域別目標**

聞くこと	ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。
読むこと	ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
話すこと [やり取り]	ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。
書くこと	ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

**5 単元の評価規準【「話すこと [やり取り]」】**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・現在分詞や過去分詞を用いた後置修飾や間接疑問文の特徴やきまり、議論に必要な語や表現を理解している。</p> <p>・社会的な話題について、現在分詞や過去分詞を用いた後置修飾や間接疑問文などを用いて、自分の考えや理由を伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>・友達の意見等を踏まえながら自分の考えをまとまりのある英文で述べるために、社会的な話題について読んだり、聞いたりしたことをもとに、相手の意見に応じて、考えやその理由を簡単な語句や文を用いて伝え合っている。</p>	<p>・友達の意見等を踏まえながら自分の考えをまとまりのある英文で述べるために、社会的な話題について読んだり、聞いたりしたことをもとに、相手の意見に応じて、考えやその理由を簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。</p>

6 指導と評価の計画（全8時間）

次	時	主な学習活動 ねらい（■）言語活動等	評価規準			
			知	思	態	備考
一	1	<p>Orientation</p> <p>■単元の目標を理解する。(Listening・Speaking)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者とALTによる身近なテーマでの英語での議論を聞いた後、そのテーマについて簡単なディベートを英語でやってみることで、自分が伝えたい内容をうまく伝えることができなかったことを実感させ、単元終末で付けたい力を明らかにする。</li> <li>・現在分詞・過去分詞を用いた後置修飾の意味や用法について理解する。</li> </ul>	<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して、生徒の状況は確実に見届けて指導に生かすことは毎時間行う。活動させているだけに ならないよう十分留意する。(国立教育政策研究所『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 中学校外国語) から引用)</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、学習の振り返りを行う。</li> <li>・第6時、第8時、後日のパフォーマンステストに向け、帯活動としてミニディベートを行い、議論に必要な語句や表現の定着、論点に応じた反応の仕方を学ぶ。第3時「ディベートに必要な表現を理解している」、第5時「相手の意見に応じて自分の考えを伝えている」を観点に自己評価を行い、単元のゴールに向けて目的意識をもてるようにする。</li> </ul>
	2	<p>Starting Out p.70,71</p> <p>■日本のロボット技術を読み取る。(Reading・Speaking)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニディベートをする。</li> <li>・新出語句の確認、教科書の内容を理解する。</li> <li>・現在分詞・過去分詞を用いた後置修飾の意味や用法について理解し、使えるようにする。</li> </ul>				
	3	<p>Dialog p.72,73</p> <p>■日本製のロボットができることを読み取る。(Reading・Speaking)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニディベートをする。</li> <li>・新出語句の確認、教科書の内容を理解する。</li> <li>・間接疑問文の意味や用法について理解し、使えるようにする。</li> </ul>				
二	4	<p>Read and Think 1 p.74,75</p> <p>■ディーパと光太の立場とその理由を読み取る。(Reading・Speaking)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニディベートをする。</li> <li>・新出語句の確認、教科書の内容を理解し、問題を解く。</li> <li>・登場人物の立場と意見を付箋で整理する。(話の論点や理由に着目する。)</li> <li>・教科書に掲載されている「コラム」の危険な場所で働くロボットについてどう思うか、自分の意見を書きまとめる。(Writing)</li> </ul>				
	5	<p>Read and Think 2 p.76,77</p> <p>■咲とアレックスの立場とその理由を読み取る。(Reading・Speaking)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニディベートをする。</li> <li>・新出単語の確認、教科書の内容を理解し、問題を解く。</li> <li>・登場人物の立場と意見を付箋で整理する。(話の論点や理由に着目する。)</li> <li>・教科書に掲載されている「コラム」の暮らしの中のロボットについてどう思うか、自分の意見を書きまとめる。(Writing)</li> </ul>				

二	6 本時	Debate ■相手の意見に応じて自分の考えやその理由を伝え合う。 (Listening・Reading・Speaking) We should live with robots. For or against? ・第4時・第5時で読み取った、教科書の登場人物の意見やその理由を整理する。 ・登場人物の意見やその理由を参考に、与えられた立場で論点に基づいて理由を考え、付箋にメモを取る。 ・付箋を使いながら、Debate I・IIでは、賛成、反対でディベートをし、観察者(2名)はメモを取りながら内容を聞き、気付いたことを伝える。 ・自分の立場で、自分の考えやその理由を発表し、それぞれの意見を共有する。 ・話したことを基に、自分の意見を書きまとめる。(Writing)	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して、生徒の状況は確 実に見届けて指導に生かすことは毎時間行う。活動させているだけにな らないよう十分留意する。(国立教育政策研究所『指導と評価の一体化』 のための学習評価に関する参考資料 中学校 外国語) から引用)		
	7	Listening p.78 ■優先席についての議論を正確に聞き取る。(Listening) ・ミニディベートをする。 ・考えとその理由を正確に聞き取る。			
三	8	Debate p.79 ■相手の意見に応じて自分の考えやその理由を伝え合う。 (Speaking) We should use printed dictionaries. For or against? ・賛成、反対でディベートをする。 ・自分の立場で、それぞれの意見を共有する。 ・話したことを基に、自分の意見を書きまとめる。(Writing)	○	○	○
	後日	Performance Test (Speaking)	○	○	○

### 7 本時の目標 (本時：6/9時間目)

・「ロボットとの暮らし」についての英語によるディベートを通して、相手の意見に応じて、自分の考えやその理由を伝え合うことができる。

※本時では、記録に残す評価は行わないが、ねらいに即して生徒の活動の状況は確実に見届けて指導に生かす。

### 8 本時の展開 ※実線は、「読み解く力」のAの側面、波線は、Bの側面に関わる留意点や評価規準

	生徒の活動	指導上の留意点(・) ●指導改善例
7分	1. めあての提示 相手の意見に応じて自分の考えや理由を伝え合うことができる。 We should live with robots. For or against? ・話題を聞き、教科書の4人の立場と理由を整理する。 ・与えられた立場で、その理由を考え、メモ程度に付箋に記入する。(論点や理由等)	・視覚的に立場がわかるように、次のような付箋を活用させる。 (賛成：ピンク、反対：青、+追加：黄色、⇔反論：黄色) ●理由がすぐには書けない生徒には、教科書の表現や具体例を示し、安心してディベートに臨めるようにする。

8分	<p>2. Debate I</p> <p>・賛成、反対でディベートをする。観察者2人(メモ、レポート)は、論点を整理し気付いたことを伝える。</p>	<p>・観察者には、メモをもとに論点整理をしたり、気付いたことを伝えたりするように促す。</p>
12分	<p>3. 中間交流</p> <p>・次の3点についてディベートIを振り返りながら交流する。</p> <p>① 論点整理(具体例・反論)</p> <p>② 「さらに伝えたい表現」の共有</p> <p>③ 追加情報の提示</p>	<p>・ディベートIで見つけた生徒の姿を価値付けながら、中間交流を3つの視点から行う。</p> <p>① <u>論点整理(具体例・反論)</u></p> <p>② <u>「さらに伝えたい表現」の共有</u></p> <p>③ <u>追加情報の提示</u></p>
10分	<p>4. Debate II</p> <p>・中間交流で学んだことを生かし、積極的にディベートをする。観察者(2人)は、論点を整理し、気付いたことをメモしたり、伝えたりする。</p>	<p>・中間交流が生かしているかを見取りながら、活動を支援したり、必要な指導を個別にしたりする。</p>
<p>【ディベートII】</p> <p>A: I agree with this idea. I have two reasons. First, robots can make our lives better. Second, robots can work for 24 hours a day.</p> <p>B: I disagree with this idea because we need a lot of money to create the robots. (費用面)</p> <p>A: That's true. We need a lot of money to create them at first, but we can get a lot of money when we sell them to many people. (費用面に関する反論)</p> <p>観察者: B said, "We need a lot of money to create the robots at first.", but A said, "We can get a lot of money when we sell them to many people." I think A's opinion is strong. (論点の整理と気づき)</p>		
5分	<p>5. 全体共有</p> <p>・2回のディベートの内容を基に、友達の意見を踏まえながら、自分自身の考えやその理由を発表し、共有する。</p>	<p>・全体シェアリングでは、<u>論点を板書しながら進める。</u></p> <p>●苦手な生徒も発言できるように、<u>意図的に指名しながら全体共有を進める。</u></p>
<p>【全体共有】</p> <p>A: I think we should live with robots because robots can make our lives better.</p> <p>B: Same as A, I agree with this idea. We need robots'help because the number of elderly people is increasing.</p> <p>C: A said, robots can make our lives better, but I think that's not always true. Sometimes, robots get out of control. It's dangerous for us to live with them.</p>		
5分	<p>6. Writing</p> <p>・話したことを基に、自分の意見(理由を2つ以上含む)をまとまりのある英文で書く。</p>	<p>・まとまりのある文章を書けるように、<u>ライティングの形式をスライドで映しておく。</u></p>
<p>【ライティング】</p> <p>I think we should live with robots. I have two reasons. First, robots can make our lives better. Second, we need robots'help because the number of elderly people is increasing and the number of working people is decreasing. For these reasons, I think we need robots for our future.</p>		
3分	<p>7. 学習を振り返る</p> <p>・めあてに沿って、本時にできるようになったことを振り返り、次時に学習することへの見通しをもつ。</p>	<p>・本時のめあてに沿って振り返りをさせ、次時に学びたいことやできるようになりたいことについて書くように促す。</p>

## 9 授業参観の視点

- (1) 相手の意見に応じて、話そうとする姿。(ディベートI、ディベートII)
- (2) 中間交流や全体共有を取り入れることで、英語によるディベートを通して、相手の意見に応じながら、自分の考えやその理由をより説得力のあるものへと高めていく姿。(ディベートII、全体共有、ライティング)